

CHOFU

強制追焚付石油給湯器
〔石油給湯機付ふろがま〕

取扱説明書 (保証書付)

型名

KSB-4565SGL



このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20805890 (K)

取扱説明書をお読みになる前に

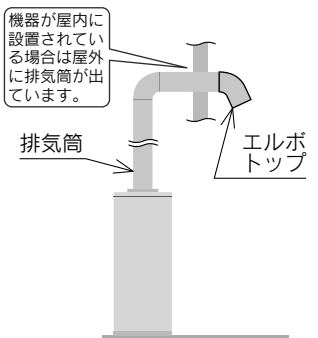
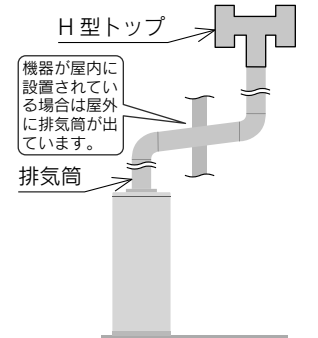
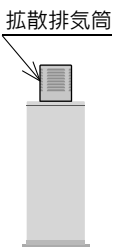


機器の排気タイプと、ご自宅の混合水栓のタイプを確認してください。

☐ 太枠内に✓(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

排気タイプは？

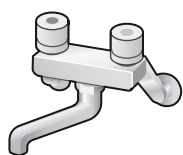
●本書では必要な項目で排気タイプを記載して説明しています。排気筒の形状を確認してください。

☐ 強制排気タイプ	☐ 強制通気タイプ	☐ 無煙突タイプ
機器が屋内に設置されている場合は屋外に排気筒が出ています。  排気筒 エルボトップ 排気筒の先にエルボトップがついている。	H型トップ 機器が屋内に設置されている場合は屋外に排気筒が出ています。  排気筒 排気筒の先にH型トップがついている。	 拡散排気筒 拡散排気筒がついている。

混合水栓のタイプは？

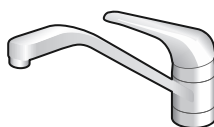
●本書では2ハンドル混合水栓で説明をしていますが、必要な項目では混合水栓のタイプを記載して操作方法を説明しています。ご自宅の混合水栓のタイプを確認してください。

2ハンドル混合水栓



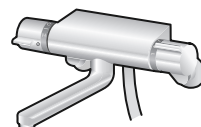
給湯栓(お湯)と給水栓(水)を回して温度を調節します。

シングルレバー混合水栓



レバーの位置を変えて温度を調節します。

サーモスタット付混合水栓



温度調節ハンドルで温度を調節します。

イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

使ってみよう！

お湯を使いたい

給湯温度 ➡ 20・21ページ

おふろの温度を保ちたい

ふろ保温 ➡ 22ページ

おふろをあつくしたい

追いだき ➡ 24ページ



困ったときは？

地震や火災が起きた！

➡ 8ページ

お手入れは
どうしたらいいの？

➡ 33～37ページ

凍結を予防したい

➡ 28～30ページ



給湯器の動きが
いつもと違う

➡ 38・39ページ

リモコンにエラーコード
が出ている！

➡ 40・41ページ

も	く	じ	ページ
ご使用の前に		取扱説明書をお読みになる前に	2
		特に注意していただきたいこと	6
		各部の名称(外観図).....	13
		リモコンの名称とはたらき	15
		ご使用前の準備と確認	
		(燃料)	17
		(給油)	17
		(油切れ予告装置について)	17
基本の使いかた	給湯	シャワーやじゃ口でお湯を使う(給湯温度).....	20
	お風呂	保温する(ふろ保温)	22
		お風呂の温度を変える(ふろ温度)	23
		保温時間を変える(ふろ保温時間)	23
		お湯を温める(追いだき)	24
便利な使いかた	リモコン	呼び出し(呼出)	25
		画面の明るさ・音の設定を変える	26

	ページ
時刻を合わせる	27
リモコンの機能設定一覧	27
冬期の凍結による破損防止について	
(凍結予防)	28
(水抜き後の再使用のとき)	31
(凍結したとき)	32
長期間使用しない場合	32
日常の点検・手入れ(点検・手入れの必要事項、時期、方法)	33
定期点検	37
法定点検	37
故障かな？と思ったら	
(修理を依頼する前に)	38
(エラーコード)	40
(安全装置)	42
(その他の装置)	42
部品交換について	43
仕 様	43
据付け	44
試運転	45
保証書	巻末
アフターサービス	裏表紙

特に注意していただきたいこと

- ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

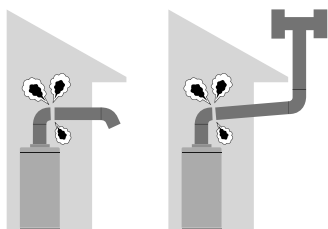


●排気筒はずれ危険

(屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

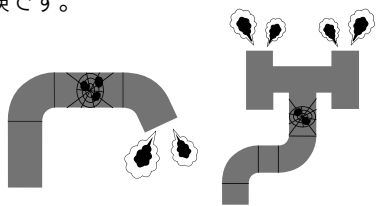


●排気筒閉そく危険

(屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

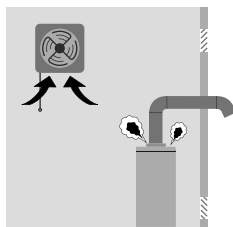
排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



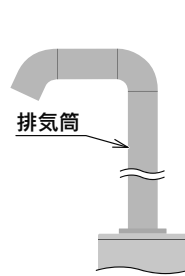
●換気扇の同時使用禁止

(屋内設置の場合)

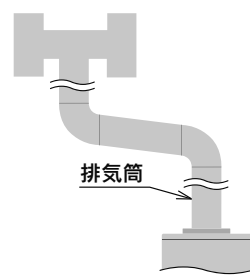
機器を設置した室内に換気扇が設置されている場合、燃焼中に換気扇を使用すると、排ガスが逆流して火災や事故の原因になります。換気口が設置されていてもリモコンの運転スイッチが「入」のときは、換気扇を使用しないでください。



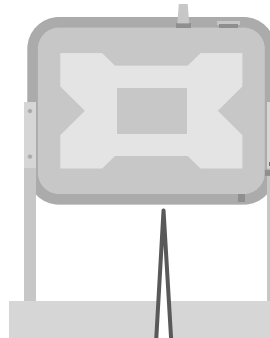
強制排気タイプ



強制通気タイプ



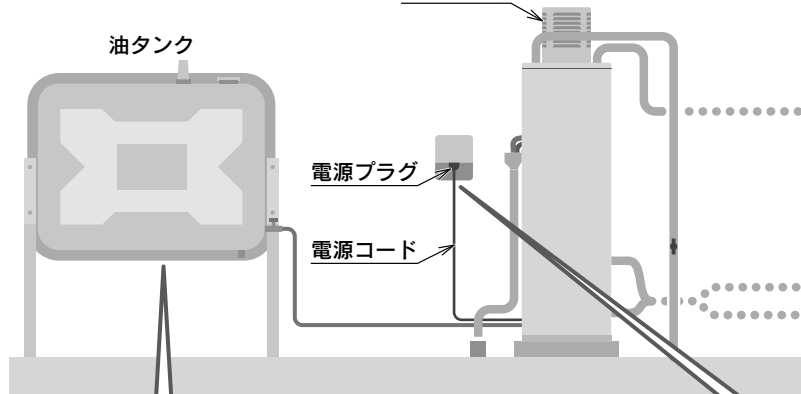
油タンク



無煙突タイプ
拡散排気筒

電源プラグ

電源コード



●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
---	----------------------	---	------------------------

	ガソリン厳禁		濡れ手禁止		分解禁止		接触禁止		一般的な警告・注意
	高温注意		感電注意		アースを接続する		電源プラグを抜く		

(WARNING)

高温注意

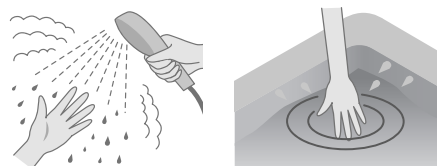
- シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切換えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



- 入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

(やけどのおそれ)



- ふろ保温中や追いだき中は、循環口に近づかない

(やけどのおそれ)

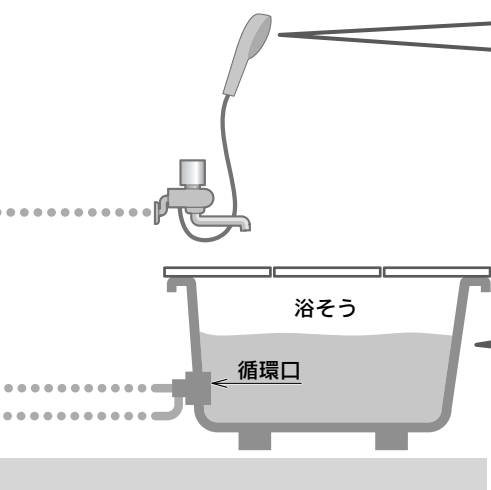
循環口から熱いお湯が出るので注意してください。



- お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



- 電源コードは切断して延長しない

(火災・感電・発熱の原因)

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

地震や火災などの緊急時の 処置

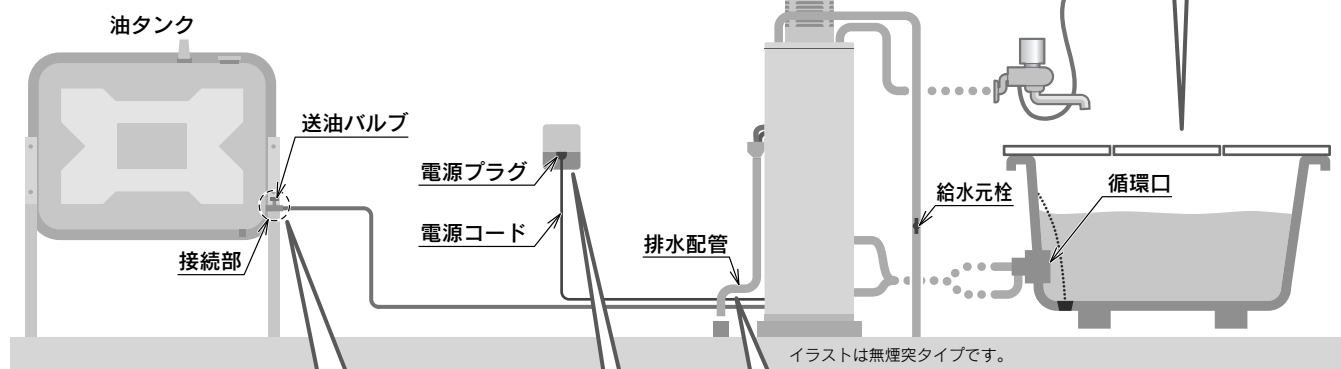


1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

● 浴そうのふたに乗ったり手をついたりしない



ふたがはずれておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。



● 油漏れに注意する

(火災の原因)

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。



● 排水配管から排出される水を飲用・飼育用などに使用しない

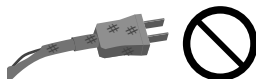


(健康を害するおそれ)

電源コード、電源プラグ、アースについて

● 傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

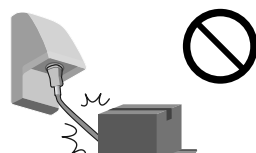
(火災や感電の原因)



● 電源コードに無理な力を加えない

(火災や感電の原因)

- ・ 無理に曲げない
- ・ 引張らない
- ・ ものを載せない
- ・ 衝撃を与えない



● 傷つけたり、破損させたりしない

(火災や感電の原因)



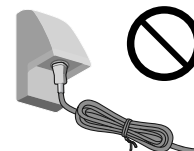
● 電源コードを引張って電源プラグを抜かない

(火災や感電の原因)



● 電源コードは束ねたまま使用しない

(火災や発熱の原因)



● 電源プラグを抜いて停止させない

(火災や故障の原因)



● 電源プラグを濡れた手で触らない

(感電するおそれ)

雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。

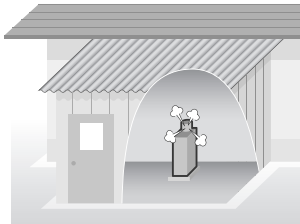


(CAUTION)

囲い禁止(屋外設置の場合)

(不完全燃焼や火災の原因)

- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない
- 機器や排気口などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない
- 外壁工事などで機器全体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは無煙突タイプです。



●ゴム製送油管の点検・交換をする (屋内設置の場合)

ゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



●家庭用以外の使用禁止

(思わぬ事故や故障の原因)

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



●電源プラグは確実に差し込む (火災・感電・発熱の原因)



●電源プラグのほこりは定期的にふきとる

リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



●アースを確認する

(感電するおそれ)

この機器はアースが必要です。アースが接続されてない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



使用上の注意

- 給湯・シャワー・追いだき以外には使用しない
(思わぬ事故の原因)



- 分解修理・改造の禁止
(火災・感電・漏電の原因)



故障や破損したときは、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意



機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。

- 純正部品以外は使用しない
(事故や故障の原因)



- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する
(火災・感電・事故の原因)



- 長期間使用しないとき
(火災や思わぬ事故の原因)



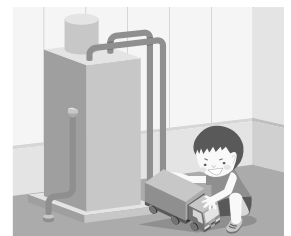
「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **30ページ**

子どもに注意する

(思わぬ事故の原因)



- 子どもをお風呂にもぐらせない
- 子どもを浴室で遊ばせない
- 子どもだけで入浴させない
- 子どもを機器の周囲で遊ばせない



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

異常・故障時使用禁止

(事故の原因)



1. 以下の場合はすぐに使用を中止する
 - ・ 点火しない、機器が使用中で消火した
 - ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
 - ・ ススが出る
 - ・ 油が漏れている
2. 「故障かな?と思ったら」に従い処置を行う **38～42ページ**
3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する

可燃物禁止



- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かない
(火災の原因)

新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。

- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

(爆発や火災の原因)

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



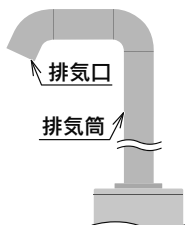
高温部接触禁止



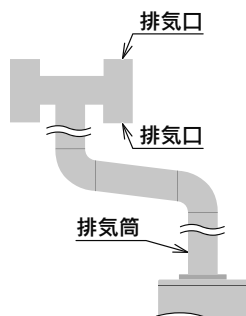
- 燃焼中や消火直後は高温部(機器・排気筒・拡散排気筒)に手など触れない

(やけどのおそれ)

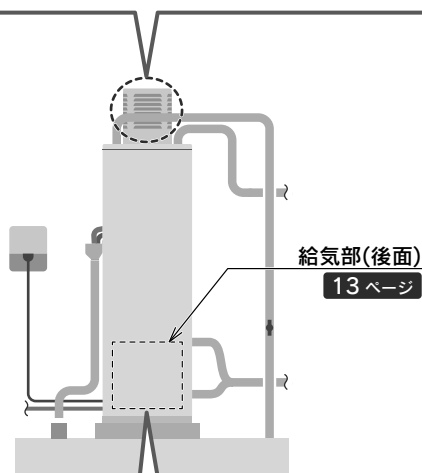
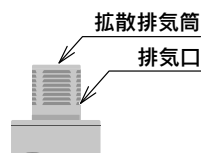
強制排気タイプ



強制通気タイプ



無煙突タイプ



- 給気部や排気口に指や棒を入れない
(けがや事故の原因)



お願い(NOTICE)

停電時の注意

●停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にする

停電すると運転が停止します。停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。現在時刻を表示していない場合は、現在時刻の設定を行ってください。 **27ページ**

●冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。

ただし、「機器内の水を抜く方法」を行う場合は停電中のためリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。 **29・30ページ**

断水時の注意

●断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。

●断水復帰直後のお湯は飲用や調理に使用しない

(健康を害するおそれ)

飲用や調理に適さない水が配管にとどまることがありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分水を流してから使用してください。

●断水時は追いだきやふろ保温をしない

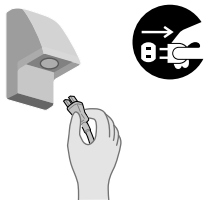
(故障の原因)

浴そうのお湯が循環口上部から約5cm以上あるときでも、追いだきやふろ保温をしないでください。

雷発生時の注意

●雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。



●雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

(感電するおそれ)

電源プラグを濡れた手で触らないでください。



使用上の注意

●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。

●エルボトップの真下にもものを置かない

エルボトップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。

真下にもものなどを置かないでください。



●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

●高地で使用するときはご相談ください

(燃焼不良の原因)

標高1,000～1,300mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

標高1,300mを超える場所では使用できません。

●地下水・井戸水使用時の注意

上水道の使用をおすすめしますが、地下水や井戸水も使用できます。

ただし、地下水や井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は、保証期間内でも有料になります。

●温泉水は使用しない

温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

混合水栓について

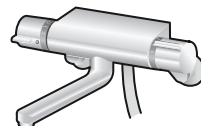
●通水抵抗が少ないもの、シャワーヘッドの圧力損失が少ないものを使用する

(出湯量が少なくなる可能性)

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●サーモスタット付混合水栓の使用を推奨

(やけど防止)



特に注意していただきたいこと

お願い(NOTICE)

積雪時の注意

●点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。

雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない

(健康を害するおそれ)

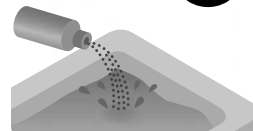
雑用水として使用してください。

入浴剤や洗剤の使用について

●入浴剤や洗剤に注意する

(機器内や配管を腐食させる原因)

温泉水・イオウ・酸・アルカリ・油分を含んだ入浴剤や洗剤は、機器や配管の腐食などの原因になります。使用しないでください。



●お風呂にミカンやレモンなどを浮かべて使用しない

ポプリなどを使用する場合は、袋などに入れて使用してください。循環口につまると故障のおそれがあります。



●浴そう内では石けんやボディーシャンプーを使用しない

次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。

以下の場合取扱説明書に従って処置を行う

●リモコンにエラーコードが出たとき

40・41ページ

(火災や事故の原因)

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。

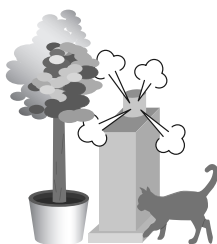
●凍結のおそれがあるとき

28～30ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

排ガスについて

●植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受けるものを周囲に置かない



●排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない

(変色・破損・腐食の原因)

浴そうに関する注意

●循環口を手・足・タオルなどでふさがない

(故障の原因)



●循環口フィルタが緩んだりはずれたまま使用しない

髪の毛が吸い込まれるなど事故・故障・けがの原因になります。特に小さなお子様には注意してください。

リモコンの注意

●子どもにいたずらさせない

(事故や故障の原因)



●分解したり乱暴に扱ったりしない

(故障の原因)

●浴室リモコンに水・シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない

防水形でも、大量の水・シャンプー・リンス・入浴剤などをかけると故障や変色の原因になることがあります。かかった場合はすぐにふきとってください。

●台所リモコンに水や水しぶきをかけない

(故障の原因)

炊飯器や電気ポットなどの湯気にも注意してください。

●掃除のときは、ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー・塩素系カビ洗浄剤・酸性浴室用洗剤を使用しない

(印刷や塗装のはがれ・傷・変色などの原因)

●リモコンのふたは閉じる

(故障や破損の原因)

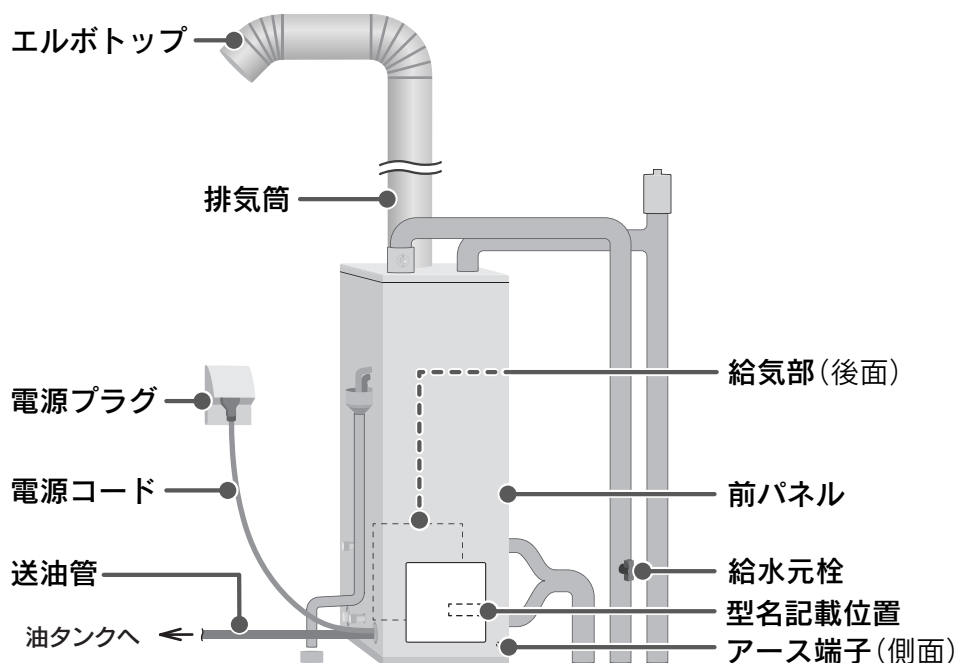
操作が終わった後は必ずリモコンのふたを閉じてください。

各部の名称

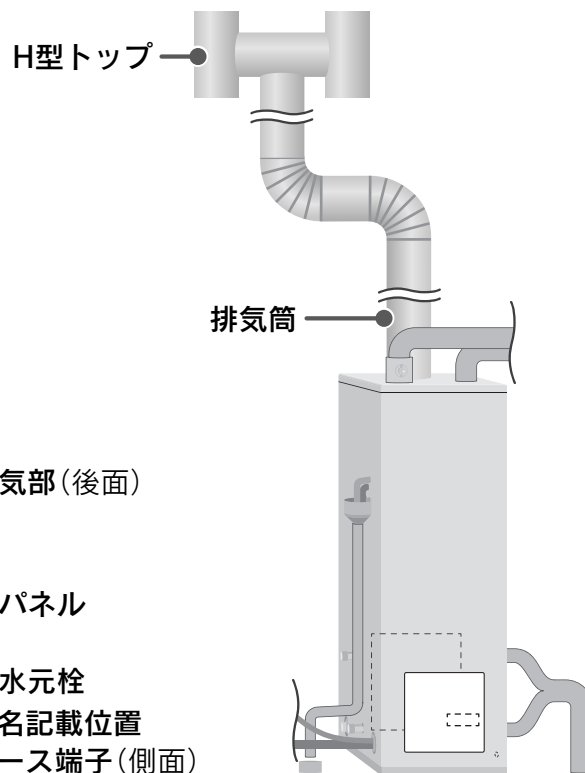
外観図

イラストはイメージです。

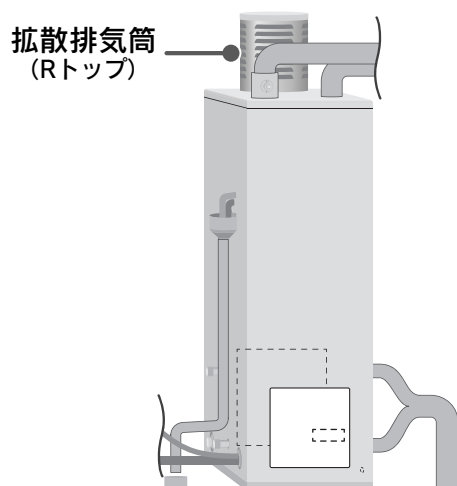
強制排気タイプ(屋内外設置) 2ページ ※排気筒(エルボトップ)取付時



強制通気タイプ(屋内外設置) 2ページ ※排気筒(H型トップ)取付時



無煙突タイプ(屋外設置) 2ページ ※拡散排気筒(Rトップ)取付時



ご使用の前に

基本の使いかた

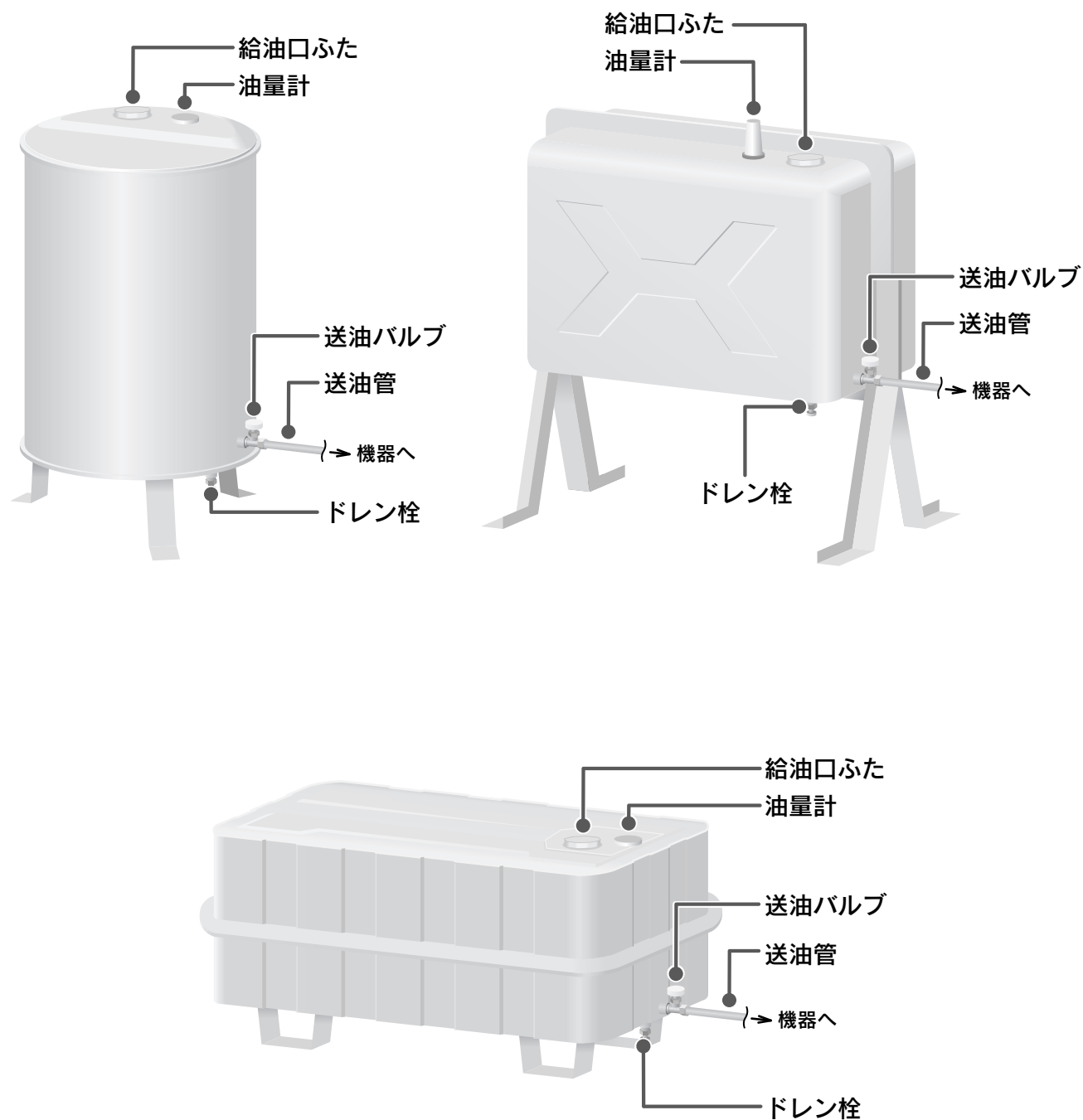
便利な使いかた

必要なときに

各部の名称

油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なる場合があります。)

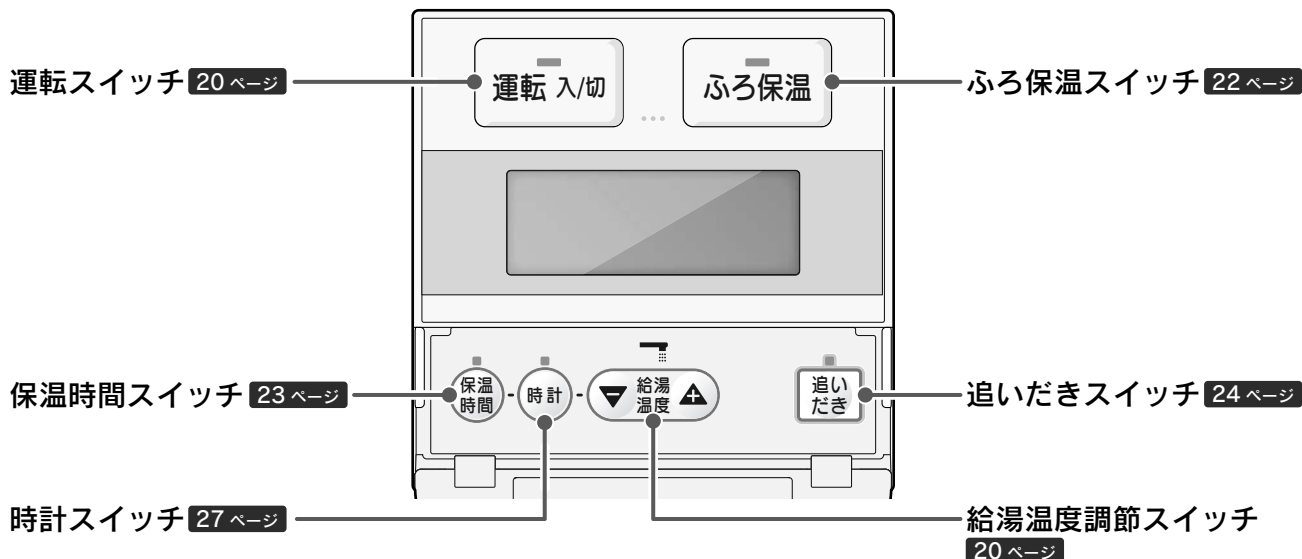


リモコンの名称とはたらき

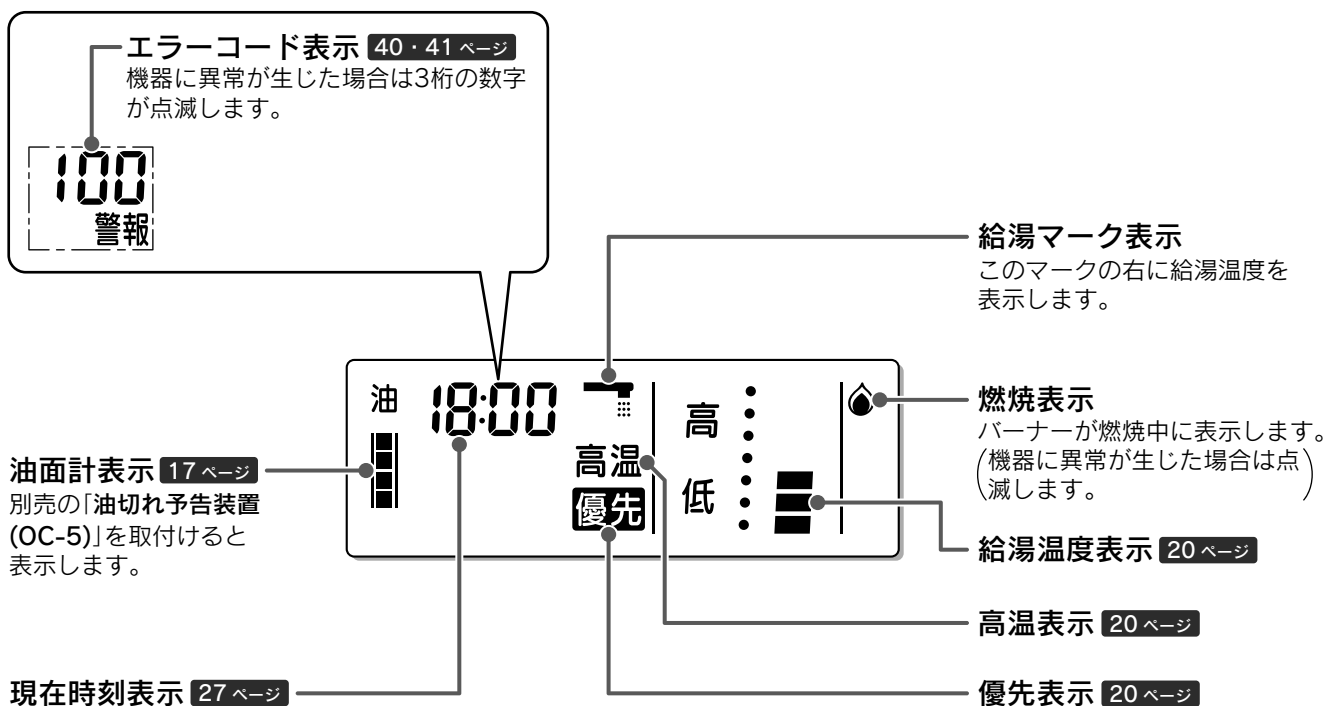
リモコン

台所リモコン(CMR-2907)

ふたを開いた状態です。



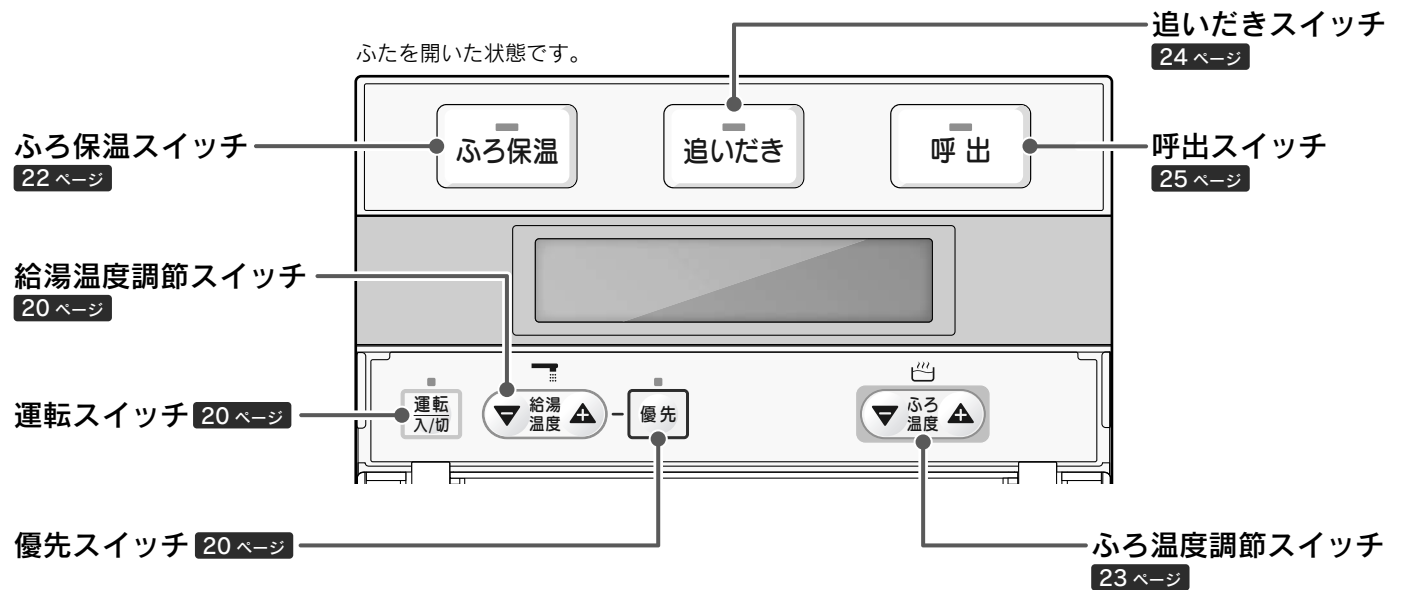
表示部



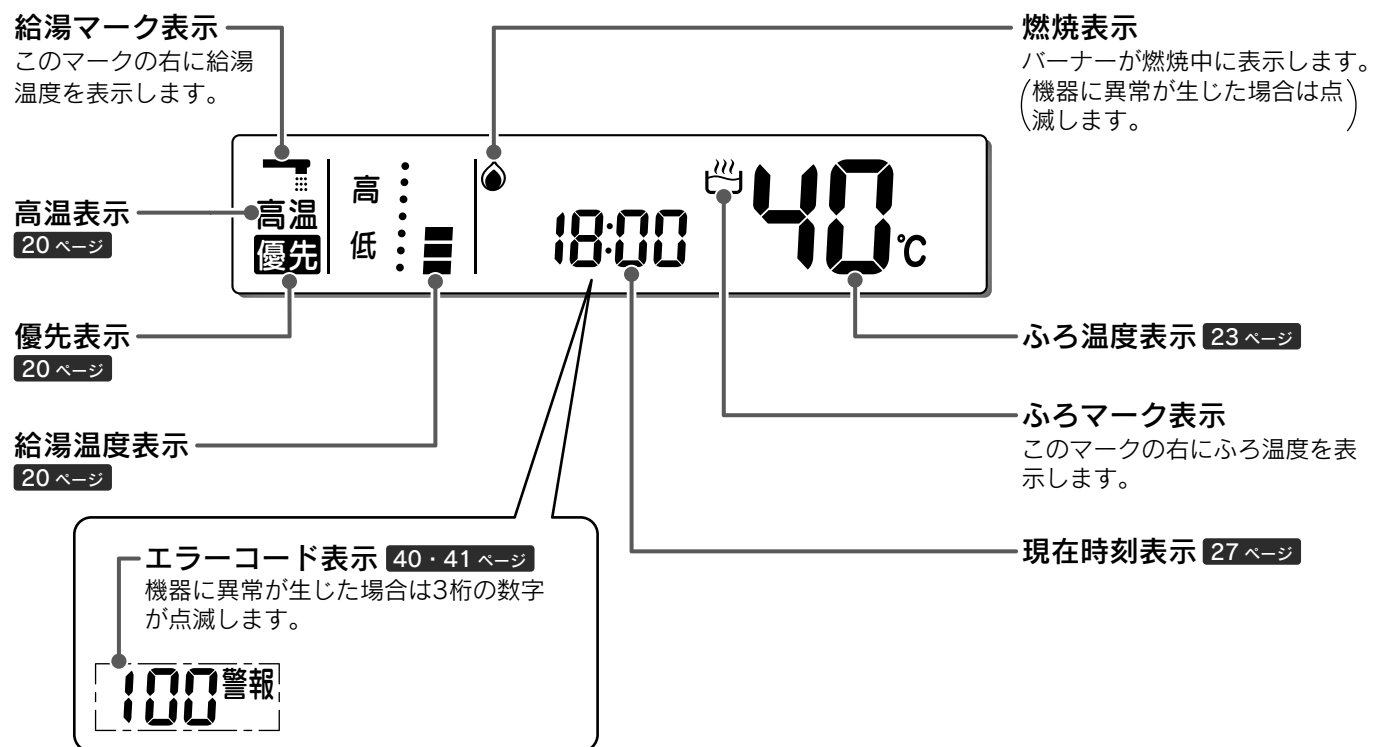
表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

リモコンの名称とはたらき

浴室リモコン(YST-2901)



表示部



表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

ご使用前の準備と確認

燃料

警告

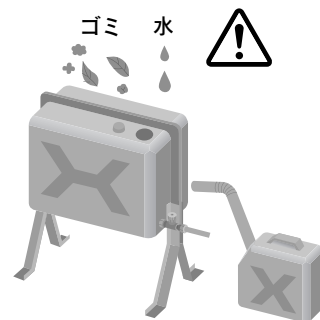
- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下によりススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。

- 燃料切れを起こさないように、こまめに油タンクの油量計を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

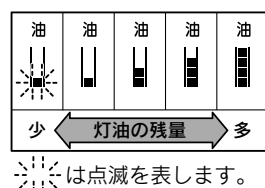
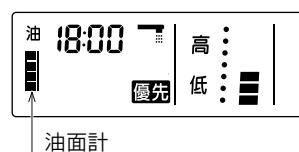
- リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示します。**40・41ページ**
給油後にリセットすると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。
(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセット操作を行ってください。)
- リセットの方法
リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にします。
2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

油切れ予告装置(別売部品)について

- 油切れ予告装置を取付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 油切れ予告装置は「OC-5」と「OC-31」の2種類あります。

OC-5を取付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示します。
- 油面計の1段階目が点滅すると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定は油切れ予告装置に付属の説明書をご覧ください。



OC-31を取付けたとき

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。(OC-31は油面計を表示しません。)
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

ご使用前の準備と確認

点火前の準備と確認

1 機器および周囲の確認をする

機器本体・排気筒・拡散排気筒・排気部・油タンクの上や周囲に燃えやすいものや引火性危険物、また排ガスによって悪影響を受けるものを置かないでください。

10・12ページ

排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。



イラストは無煙突タイプです。

2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

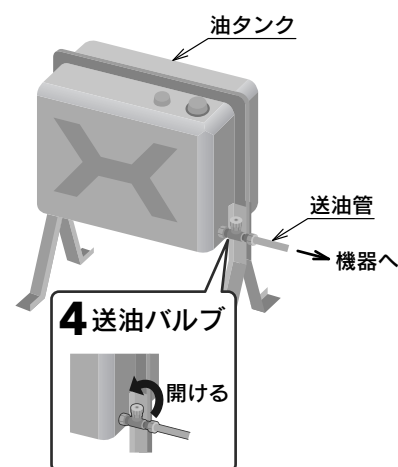
5 電源プラグを差し込む

この機器はAC100Vです。200Vに接続すると機器が破損します。

6 排気筒(屋内設置の場合)の確認

排気筒の接続部に緩みやはずれがないこと、またススがついていないことを確認してください。

緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



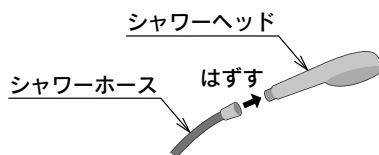
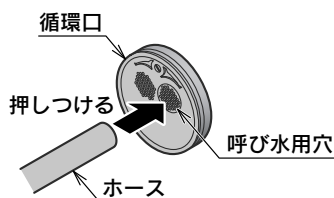
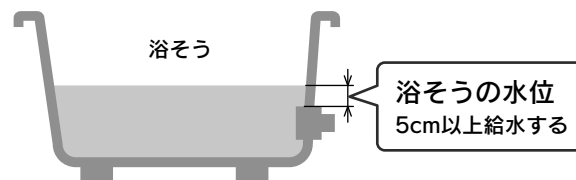
7 設置後はじめて使用するとき、循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行う

1. 浴そうの循環口上部から約5cm以上給水します。

2. ジャ口にホースをつないで、ホースの先端を循環口の呼び水用穴に押しつけ、給湯栓を開けて給水します。

循環口から空気が出なくなれば空気抜き(呼び水)は完了です。

※ジャ口にホースがつかない場合は、シャワーヘッドをはずしたシャワーホースを使用してください。

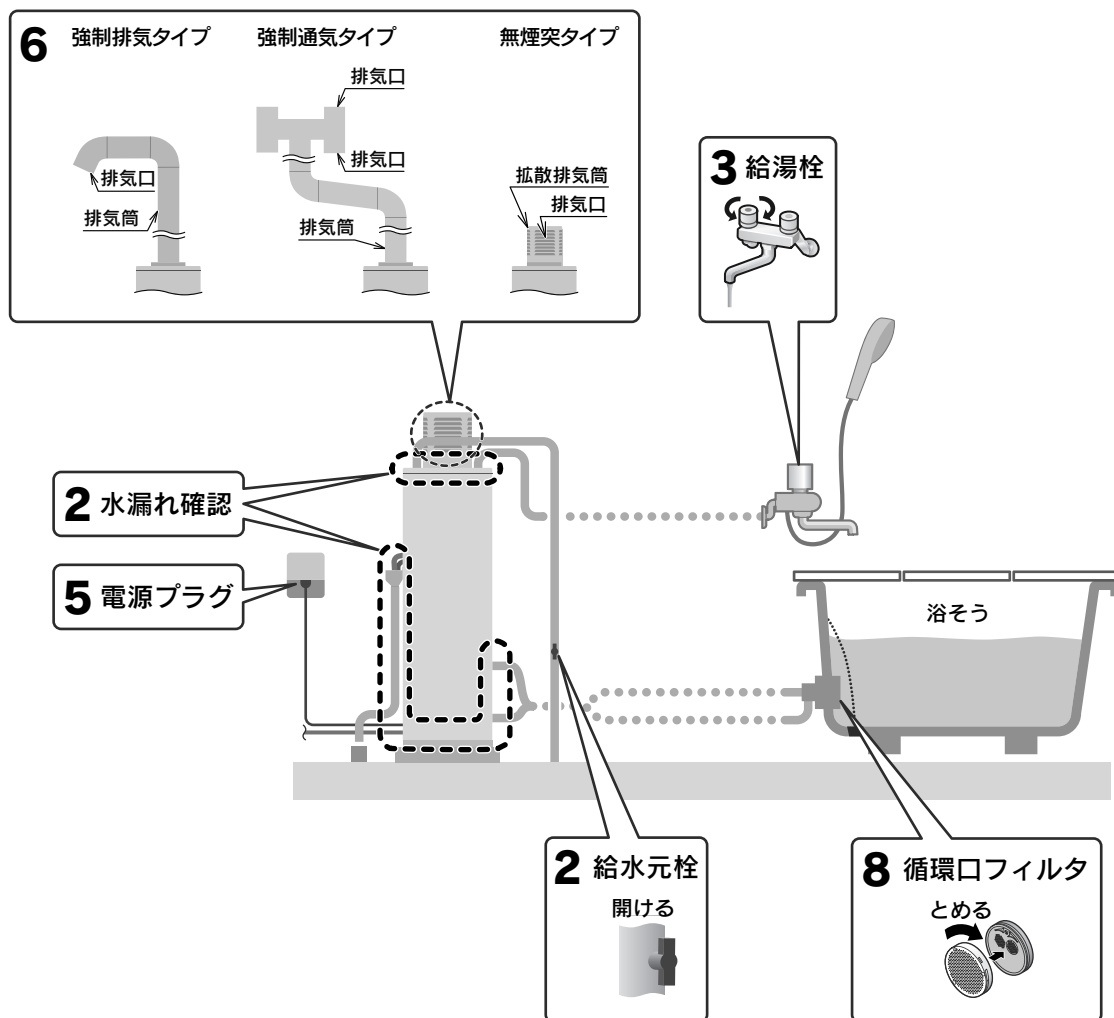


8 循環口フィルタの確認

浴そうに循環口フィルタが取り付けられていることを確認してください。

お知らせ

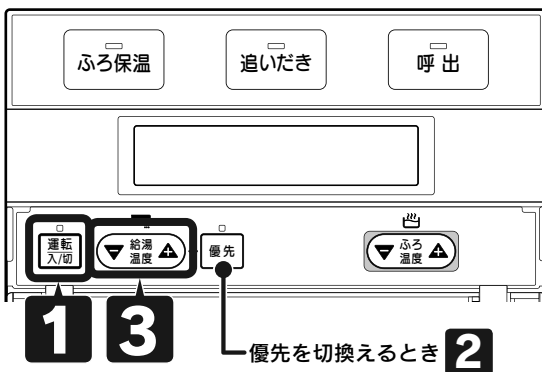
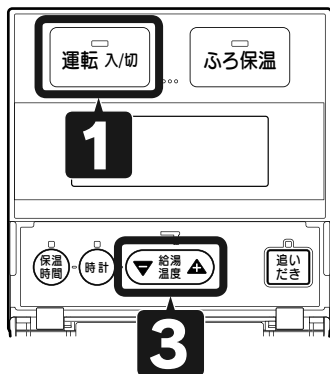
- 一度空気抜き(呼び水)を行うと循環ポンプから水を抜くまで、空気抜き(呼び水)は必要ありません。
- 循環ポンプの空気抜き(呼び水)をしないで追いだきやふろ保温を行うと、お風呂が沸き上がらなかったり、循環ポンプが故障したりする原因になります。



シャワーやじゃ口でお湯を使う

給湯温度

シャワーやじゃ口から出るお湯の温度を設定します。



リモコンの優先について

- 台所・洗面所・浴室などには同じ温度のお湯が供給されています。お湯を使用中に他の場所で給湯温度を変更すると、やかどなどの事故につながるため、「優先」を表示したリモコンのみ給湯温度の変更ができるようになっています。

1

運転 入/切

または 運転 入/切 を押して「入」にする

- 運転スイッチが「入」になるとすべてのリモコンの運転ランプが点灯します。



運転ランプ点灯

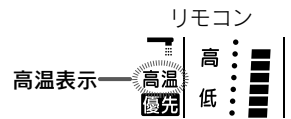


運転ランプ点灯

- 運転スイッチを押したリモコンに「優先」を表示します。

給湯温度が6段以上に設定されている場合

すべてのリモコンで「高温」を表示し、ブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。



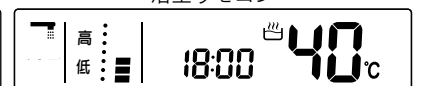
2

優先を確認する

- 「優先」を表示したリモコンのみ給湯温度の設定ができます。

台所リモコン

浴室リモコン



給湯温度が設定できるリモコンに表示します

「優先」が表示されていないリモコンに「優先」を表示させる方法

- ・ 台所リモコンに「優先」を表示させる
浴室リモコンの優先スイッチを押してください。
(台所リモコンには優先スイッチがありません。)
- ・ 浴室リモコンに「優先」を表示させる
浴室リモコンの優先スイッチを押してください。

「優先」を切換えると、「優先」を表示したリモコンの給湯温度をすべてのリモコンに表示します。
このとき給湯温度が変わると、操作をしていないリモコンもブザーが「ピピッ」と鳴って給湯温度が変わったことをお知らせします。

3

▽ または ▲ で給湯温度を設定する

給湯温度設定範囲

低～高(約15～75℃)の7段階

- すべてのリモコンが同じ温度になります。
- 給湯温度を変更すると、操作をしていないリモコンでブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。
- 給湯温度を6段以上に設定した場合は、すべてのリモコンで「高温」を表示し、ブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。

台所リモコン

浴室リモコン



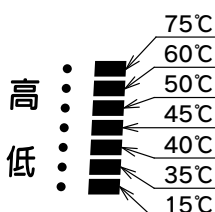
高温表示

給湯温度

高温表示

給湯温度

給湯温度のめやす



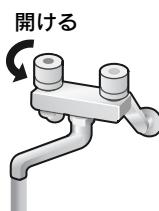
バーナーが点火して燃焼している間は、リモコンに燃焼表示を表示します。



この給湯器は機器内にお湯を貯めています。バーナーは、お湯の使用や自然放熱などにより機器内のお湯の温度が下がると自動的に点火し、設定温度になると消火します。

4 給湯栓を開ける(お湯を出す)

- 給湯栓と給湯器が離れている場合は、お湯になるまでに時間がかかることがあります。



5 給湯栓を閉める(お湯を止める)

- 長時間使用しないときは運転スイッチを「切」にしてください。



やけどに注意！

- お湯を使用する前は、リモコンの給湯温度を確認してください。
- シャワーを使用する前は、手でお湯の温度を確認してください。
- 給湯温度の変更、「優先」の切換え、運転スイッチを「切」にするときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。特にシャワー使用中は注意してください。
- 追いだき中やふろ保温中は熱いお湯が出ることがありますので、注意してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

お知らせ

- シャワーやじゃ口でお湯を使用しているときに追いだきをする、設定温度のお湯にならないことがあります。
- 追いだき中は給湯温度が7段になり変更はできません。
- ふろ保温中は給湯温度の設定範囲が自動的に5～7段になります。
ただし、初回沸き上げ中は7段になり変更はできません。
- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めにして使用してください。〔給湯温度のめやす〕参照 **20ページ**〕
- じゃ口から出るお湯の温度は配管・給水温度・流量により変化しますので、お湯の温度を確認してから使用してください。
- 給湯温度のめやすは、給水温度約20℃、出湯量毎時約600リットルの場合です。

お湯の温度と量のめやす

- 水道水の温度が20℃のとき、お湯の温度45℃・50℃・60℃・75℃で沸き上げ可能な最大量のめやすです。
お湯の量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

お湯の温度	お湯の量	
	シャワーやじゃ口で 使用するとき	シャワーやじゃ口と追いだきを 同時に使用するとき
45℃	1,560L/h	1,032L/h
50℃	1,300L/h	860L/h
60℃	975L/h	645L/h
75℃	720L/h	470L/h

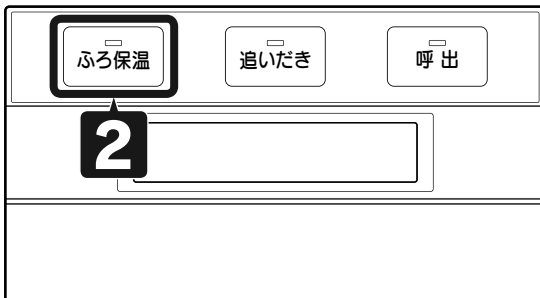
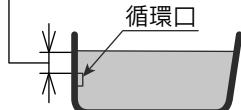
保温する

ふろ保温

設定した時間おふろの温度を保ちます。

必要なこと

浴そうのお湯が循環口上部から約5cm以上必要です。



やけどに注意！

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
- 保温中は熱いお湯が出ますので、循環口から離れてください。

お知らせ

- ふろ保温中は給湯温度の設定範囲が自動的に5～7段になります。ただし、初回沸き上げ中は7段になり変更はできません。
- ふろ保温中は燃烧表示が表示したり、消えたりを繰り返すことがあります。
- 断水のときは浴そうのお湯(水)が循環口上部から、約5cm以上ある場合でもふろ保温はしないてください。故障の原因になります。

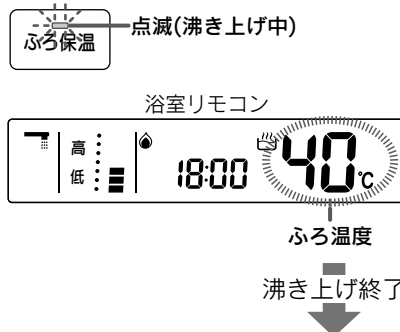
運転スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

1 ふろ温度を確認する

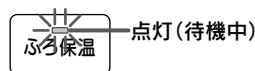
- 浴室リモコンのふろ温度を確認してください。 **23ページ**
※台所リモコンではふろ温度の確認はできません。
台所リモコンでふろ保温をするときは、浴そうのお湯の量と浴室リモコンでふろ温度を確認してから行ってください。

2 ふろ保温を押す

- ふろ保温ランプが点滅し、表示しているふろ温度まで沸き上げます。



- 沸き上げを終わると、ブザーが「ピーピーピー」と鳴ってふろ保温ランプが点灯に変わります。



- 20分ごとに表示しているふろ温度まで沸き上げ、設定したふろ保温時間が経過するとふろ保温を終了します。 **23ページ**

ふろ保温を中止するときはもう一度 **ふろ保温** を押す

お風呂の温度を変える

ふろ温度

お風呂の温度を設定します。



運転スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

1 ▼ または ▲ でふろ温度を設定する

ふろ温度設定範囲
33～48℃(1℃ごと)



保温時間を変える

ふろ保温時間

ふろ保温を行う時間を設定します。



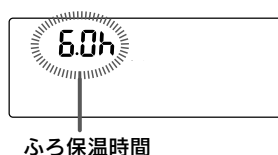
1 保温時間を押す

2 ▼ または ▲ でふろ保温時間を設定する

ふろ保温時間設定範囲
0.0h～10.0h(30分単位)
10.0h～24.0h(1時間単位)

※0.5hは30分です。
例 2.5h＝2時間30分

●保温時間はスイッチを押すごとに確定されます。



お買い求め時
4.0h

保温時間スイッチを押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

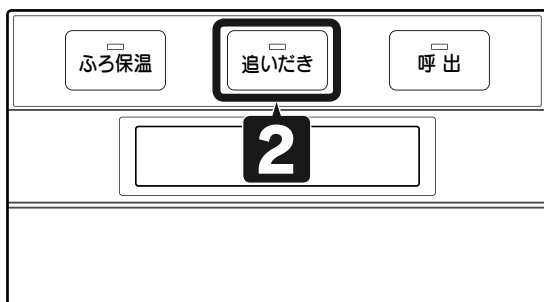
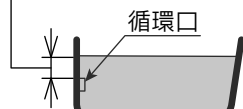
お湯を温める

追いだき

お風呂のお湯を増やさずに、リモコンのふろ温度まで沸き上げます。

必要なこと

浴そうのお湯が循環口上部から約5cm以上必要です。



運転スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

1 ふろ温度を確認する

- 浴室リモコンのふろ温度を確認してください。 **23ページ**
※台所リモコンではふろ温度の確認はできません。
台所リモコンで追いだきをするときは、浴そうのお湯の量と浴室リモコンでふろ温度を確認してから行ってください。

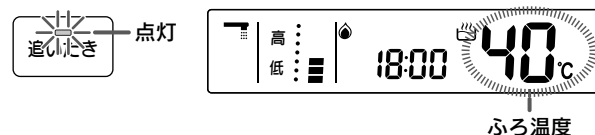
2 追いだき または 追いだき を押す

- 表示しているふろ温度まで沸き上げます。

台所リモコン



浴室リモコン



ふろ温度

お風呂の温度がリモコンのふろ温度より高い場合

- ・台所リモコンで操作したとき
追いだきせずに終了します。
- ・浴室リモコンで操作したとき
お風呂の温度+約1℃まで追いだきします。(最高48℃)

追いだき終了



- 台所リモコンの **追いだき** を押したときのみ、ブザーが「ピーピーピーピー」と鳴ってお知らせします。

やけどに注意！

- 追いだき中は熱いお湯が出ますので、循環口から離れてください。

お知らせ

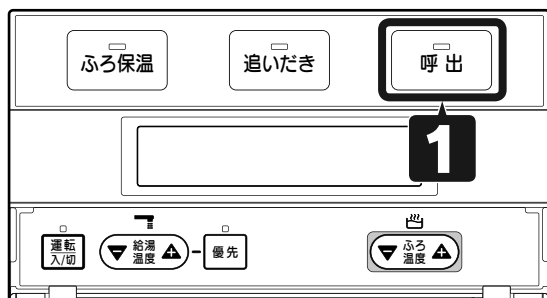
- 追いだき中は給湯温度が7段になり変更はできません。
- 追いだき中は燃烧表示が表示したり、消えたりを繰り返すことがあります。
- 断水のときは浴そうのお湯(水)が循環口上部から、約5cm以上ある場合でも追いだきはしないでください。故障の原因になります。

中止するときはもう一度 **追いだき** または **追いだき** を押す

呼び出し

呼出

お風呂で必要なものがあるときや気分が悪くなって人を呼びたいときなどに、浴室リモコンから台所リモコンの呼び出しを行うことができます。



1

呼出

を押す



点灯

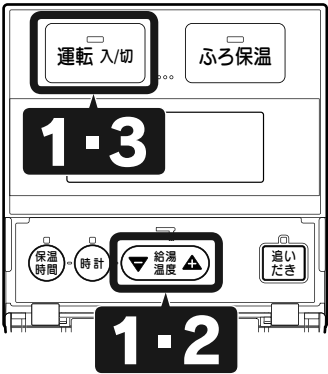
- 台所リモコンでブザーが「ピーピーピーピーピーピー」(2回)と鳴ってお知らせします。

お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく呼び出しできます。

画面の明るさ・音の設定を変える

リモコン表示部の明るさの変更や、スイッチの操作音の入/切ができます。



運転スイッチが「入」のときは「切」にしてください。

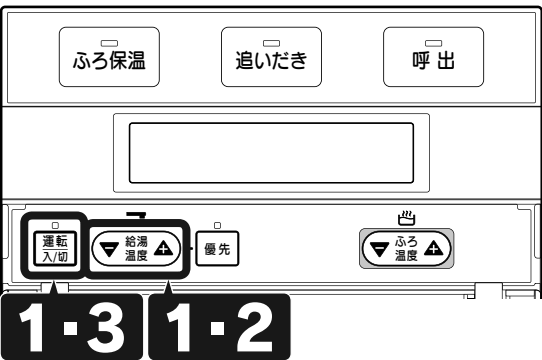
1 設定を変更したいリモコンで以下の操作をする

- 表示部明るさを変える ▼ を約5秒間押す
- 表示部省エネモードを変える ▲ を約5秒間押す
- スイッチの操作音を入/切する 運転入/切 または 運転入/切 と ▼ を同時に約5秒間押す

表示部明るさ……………明るさの変更
表示部省エネモード…バックライトの点灯状態の変更
操作音……………入/切の設定

2 ▼ または ▲ で内容を変更する

- スイッチを押すごとに確定されます。



表示部明るさ	表示部省エネモード	操作音
台所リモコン 浴室リモコン 設定内容 (暗) 1↔2…6↔7 (明)	台所リモコン 浴室リモコン 設定内容 01↔02↔03↔04	台所リモコン 浴室リモコン 設定内容 on (入)↔oFF (切)

お買い求め時
4

お買い求め時
01

お買い求め時
on

操作音

- スイッチの操作音を入/切します。
(「oFF」に設定しても、給湯温度設定時の警告音や呼出音は消えません。)

表示部省エネモード

- 給湯温度が6段以上のときは、「01」・「02」に設定していても常に「表示部明るさ」で設定した明るさになります。
- 「01」・「02」に設定しているときは、表示部省エネモード中にリモコンを操作すると元の明るさに戻ります。
(バーナーが燃焼しても元の明るさには戻りません。)

お知らせ

- リモコンごとに変更できます。

3 運転入/切 または 運転入/切 を押して終了する

- 約40秒間操作しなくても設定が終了します。

設定	内 容
01	スイッチ操作をしない状態が約5分続くとバックライトを暗くします。
02	スイッチ操作をしない状態が約5分続くとバックライトを消灯します。
03	常時バックライトを点灯します。
04	常時バックライトを消灯します。

時刻を合わせる

現在時刻 時刻を合わせます。



1 時計を押す

2 ▼ または ▲ で現在時刻に合わせる

- 1回押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。
- 時計は24時間表示です。
- 現在時刻はスイッチを押すごとに確定されます。

18:00

時計スイッチを押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

- お買い求め時・停電した後・電源プラグを抜いた後は、現在時刻が合っていることを確認してください。

リモコンの機能設定一覧

設定項目	内 容	参照ページ	お買い求め時
ふろ保温時間	ふろ保温時間の設定	23	4.0h
表示部明るさ	リモコン表示部の明るさの変更	26	4
表示部省エネモード	リモコンバックライトの点灯状態の変更		01
操作音	スイッチの操作音の入/切の設定		on
現在時刻	現在時刻を合わせる	27	—

冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)
- ふろ配管も凍結を予防するために、必ず保温してください。

凍結予防

凍結予防には「バーナーを運転させる方法」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

バーナーを運転させる方法

冷え込みが厳しいときはバーナーの燃焼と浴そう内の水を循環させ、機器内の給水経路やふろ配管の凍結を予防します。

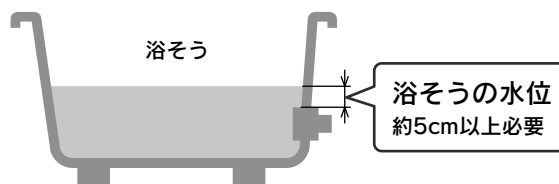
1 給湯栓を閉める

2 リモコンの運転スイッチを「入」にする

3 リモコンの給湯温度を1段に設定する

特に冷え込みが厳しいと予想される日は、給湯温度を7段に設定しリモコンの燃焼表示が消灯するまで燃焼させたのち、1段に設定してください。

4 浴そうの水位が循環口上部から約5cm以上あることを確認する



お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
(リモコンの運転スイッチを「切」にして給湯栓を開けてください。お湯が出れば凍結していません。)
(確認後、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。)
- 浴そうに水が入っていない場合は、機器外のふろ配管は保温されません。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、じゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。また、浴そう内の水を循環させている配管の凍結を予防します。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

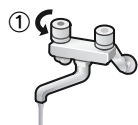
2 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに回す

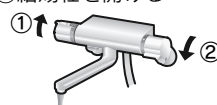
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける

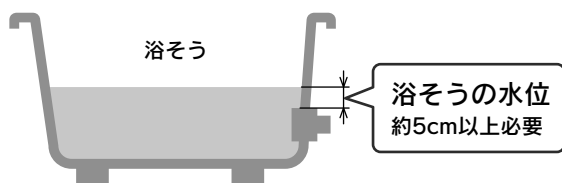


イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 約30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

4 浴そうの水位が循環口上部から約5cm以上あることを確認する



お知らせ

- 屋内1箇所のじゃ口から水を流してください。浴そう内に水を流すと洗濯などの雑用水として使用できますのでムダになりません。(浴そうにじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切換えて浴そう内に流してください。)
- 浴そうに水が入っていない場合は、機器外のふろ配管は保温されません。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。

冬期の凍結による破損防止について

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときや電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。



警告

●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。熱湯が排水されることがありますのでやけどに注意してください。

1 浴そうの水を排水する

2 リモコンの運転スイッチを「入」にする

3 リモコンの追いだきスイッチを「入」にする

循環口から水が出なくなるまで、ふろ配管内の水を排水します。

4 リモコンの運転スイッチを「切」にする

5 2分間以上経過してから電源プラグを抜く

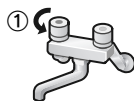
6 給水元栓を閉める

7 缶体排水栓(バルブ)を開ける

8 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける (減圧水出口の配管先の給水栓も開ける)

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す

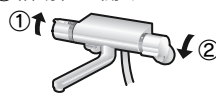
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

9 水フィルタをはずす(※1・※2)

10 ポンプ排水栓をはずす(※2)

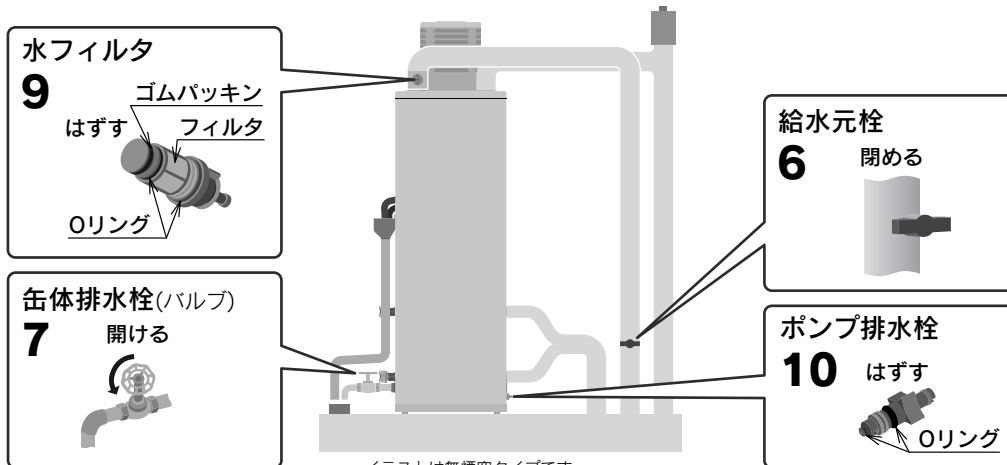
水抜き終了後、水フィルタ、ポンプ排水栓は、次にお使いになるまではずしたままにしてください。

(なくさないように注意してください。また、水フィルタのフィルタを変形させたり、水フィルタとポンプ排水栓のOリングやゴムパッキンに傷をつけたりしないように注意してください。)

※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)



お知らせ

- 再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」に従ってください。 31 ページ
- ふろの水抜きを行った後は、浴そうに水を入れないでください。
- 8で開けた給湯栓や給水栓は、再使用するときまで開けたままにしてください。

水抜き後の再使用のとき

1 缶体排水栓(バルブ)を閉める

2 水フィルタ・ポンプ排水栓を取付ける

3 給水元栓を開ける

4 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

(減圧水出口の配管先からも水が出ることを確認して給水栓を閉める)

水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出ようになってから運転してください。
確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

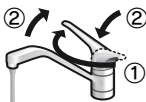
●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める

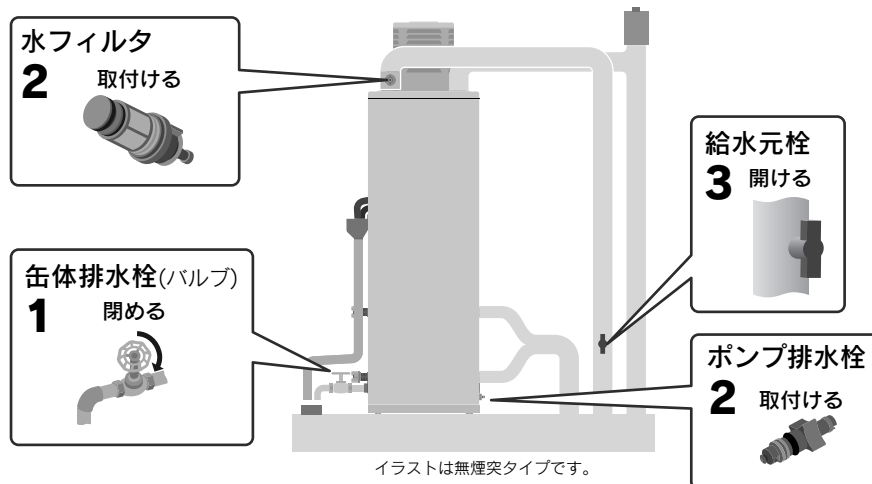


イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

5 電源プラグを差し込む



6 「点火前の準備と確認」(18・19ページ)と「基本の使いかた」(20～24ページ)に従って使用する



お知らせ

- 凍結した状態でリモコンの運転スイッチを「入」にするとエラーコード「661」を表示することがあります。 40・41ページ

冬の凍結による破損防止について

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき

2 ときどき給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度**2**を行ってください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

3 すべての給水栓・給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、配管・給水元栓・給湯栓が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

4 「点火前の準備と確認」(18・19ページ)と「基本の使いかた」(20～24ページ)に従って使用する

2 給湯栓

開ける



水が出ない

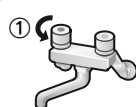


水が出る

⇒ **3**へ

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

②給湯栓を開ける



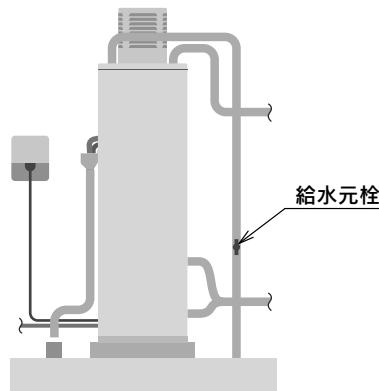
●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。



イラストは無煙突タイプです。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。 **30ページ**

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

機器・排気筒・排気部・拡散排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすいものがないことを確認してください。

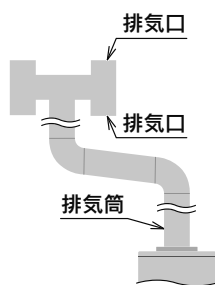
排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

排気筒の接続部分や拡散排気筒に緩みがないこと、またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

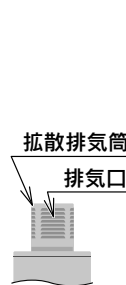
強制排気タイプ



強制通気タイプ



無煙突タイプ

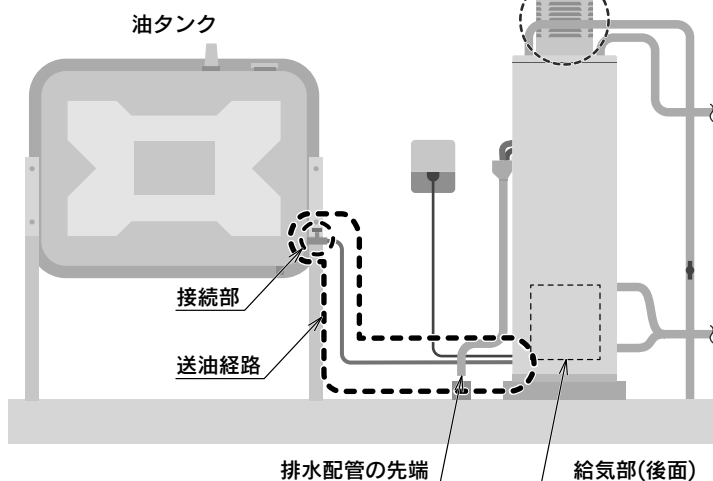


機器外観

- 排気口・給気部・排水配管の先端
ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。
- 外装
部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことなどを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。

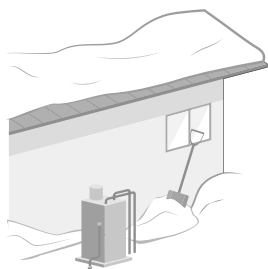


日常の点検・手入れ

適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。

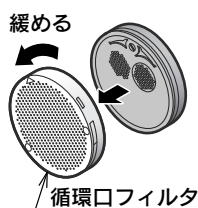


リモコン

- 水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

循環口フィルタの掃除

浴そうを掃除するときは循環口フィルタをはずし、歯ブラシなどでフィルタの汚れを掃除してください。掃除終了後は必ず取付けてください。



水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

水フィルタの掃除

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を1箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する

- ※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。
- ※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。
(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

掃除は歯ブラシなどを使用してください。フィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけたりしないように注意してください。

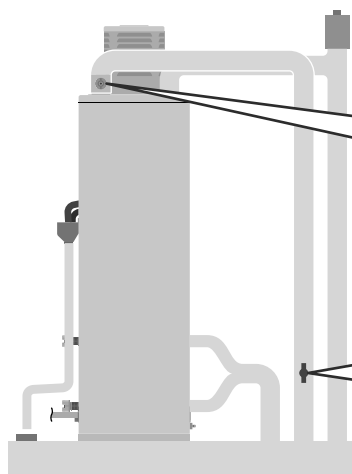
4 水フィルタを元通りに取付ける

5 給水元栓を開ける

6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

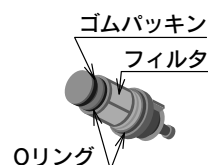
7 水フィルタから水漏れがないことを確認する



イラストは無煙突タイプです。

水フィルタ

- 3 はずす
- 4 取付ける
- 7



給水元栓

- 1 閉める

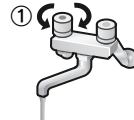
- 5 開ける

給湯栓

2 ●2ハンドル混合水栓

- ① 給湯栓を開ける / 閉める

6



●シングルレバー混合水栓

- ① 湯側いっぱい回す
- ② 給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

- ① 最高温度にする
- ② 給湯栓を開ける / 閉める

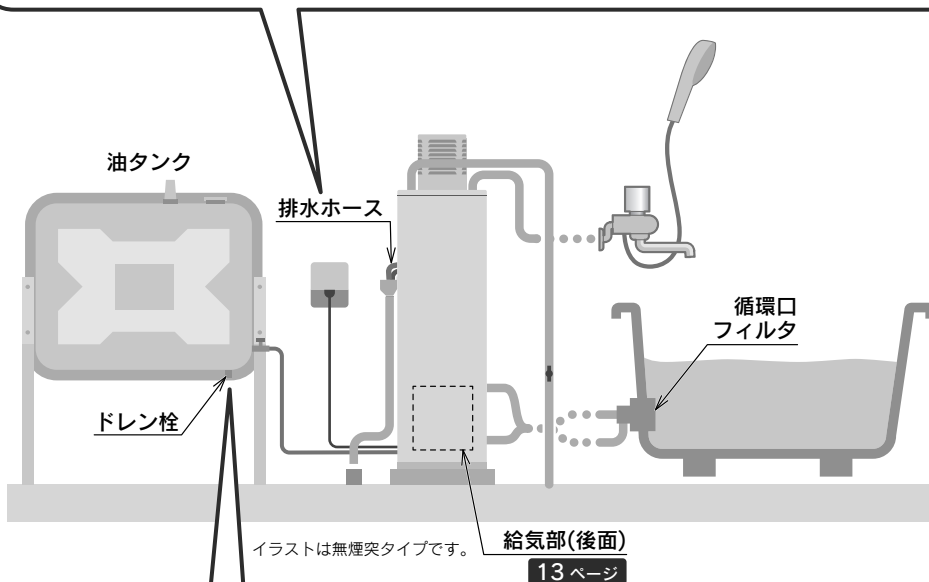


イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

1年に1回以上

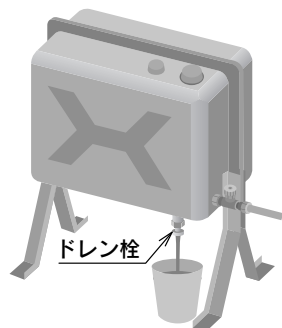
排水ホースの確認

バーナーが燃焼していない状態で、排水ホースから水が出ていないことを確認してください。
(燃焼中または燃焼後約1分間は水が出ることがありますが、異常ではありません。)
常に水が出ている場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。ドレン栓を開けて抜きとってください。
(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



油ストレーナ(機器内部)の点検

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

ゴム製送油管の点検・交換のめやす (屋内設置の場合)

ゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
特に機器後面の給気部にたまったほこりをふきとってください。

日常の点検・手入れ

1年に1回以上

給湯熱交換器の掃除

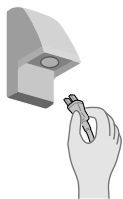
給湯熱交換器に湯あかがたまるとお湯の沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

2 給湯栓を開け、じゃ口から出るお湯が水になったら閉める

出始めのお湯は熱いことがあります。やけどに注意してください。

3 電源プラグを抜く



4 給水元栓を閉める

5 機器の缶体排水栓(バルブ)と屋内の給湯栓を1箇所開ける

6 水フィルタをはずし給湯熱交換器内の水を排水する

※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

7 水フィルタを取付ける

8 給水元栓を開ける

9 缶体排水栓(バルブ)からきれいな水が出てきたら、缶体排水栓(バルブ)を閉める

10 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

11 電源プラグを差し込む

給湯栓

2
5
10

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

水フィルタ

6 はずす

7 取付ける



缶体排水栓(バルブ)

5 開ける

9 閉める



給水元栓

4 閉める

8 開ける



イラストは無煙突タイプです。

ふろ熱交換器の掃除

ふろ熱交換器に湯あかがたまるとおふろの沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

1 浴そうの水位が循環口上部から約5cm以上になるまで水を入れ、配管洗浄剤を入れてよく溶かす

おふろの残り湯を使用する場合はお湯の温度が常温になってから行ってください。

※配管洗浄剤は別売の強制循環式風呂釜用を使用してください。配管洗浄剤の使用方法をよくお読みください。

2 リモコンの運転スイッチを「入」にし、ふろ温度を48℃にする

3 リモコンの追いだきスイッチを押す

追いだきをします。

4 追いだき終了後、浴そうのお湯を抜く

おふろのお湯が熱くなっていますのでやけどに注意してください。

5 ふろ温度を元の温度に戻す

6 泡が出なくなるまでお湯を入れ換えながら追いだきを繰り返す

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理方針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは		確認してください
シャワーやじゃ口	お湯も水も出ない	● 断水していませんか。 ● 給水元栓が全開になっていますか。 ● 配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 32ページ
	給湯栓を開けてもお湯が出ない お湯の出が悪い	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 17ページ ● リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ● 水フィルタにごみなどがつまっていますか。掃除してください。 34ページ ● 給湯栓のフィルタにごみなどがつまっていますか。掃除してください。 ● サーマスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
	お湯が出なくなった	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 17ページ ● 安全装置の作動が考えられます。 42ページ リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」に従って処置を行ってください。 40・41ページ ・ 対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・ 燃焼制御装置の場合 「110」・「120」・「130」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・ 過熱防止装置の場合 「150」・「151」・「160」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	停電後、復帰したのにお湯が出ない	● 停電すると運転は停止し、リモコンの運転スイッチが「切」になります。 停電復帰後は、リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	● 配管内に残っている水が出てくることがあります。 お湯が出るまでしばらくお待ちください。
	お湯がぬるい (設定した温度にならない)	● リモコンの給湯温度はめやすです。 配管の放熱により、設定温度よりも低くなる場合があります。 ● サーマスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンの給湯温度を確認してください。湯温安定のためリモコンの給湯温度は混合水栓の設定温度より約10℃高めにして使用してください。 ● 1箇所の混合水栓のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓故障の可能性があります。 ● お湯を使用中に追いだきをする、シャワーやじゃ口のお湯がぬるくなる場合があります。
	お湯の温度が上下したり 水になったりする お湯の量が増減する	● 次の場合が考えられます。 ・ お湯を出したり止めたりをくり返したとき。 ・ 2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・ 水道の圧力が変動していたとき。
	低温のお湯が出ない	● 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。
	高温のお湯が出ない	● 給湯温度の設定が低くなっていませんか。
	給湯温度が変更できない	● 操作しているリモコンが優先になっていますか。優先を切換えてください。 ● 追いだき中は給湯温度が7段になり変更はできません。 ● ふろ保温中は給湯温度の設定範囲が自動的に5～7段になります。 ただし、初回沸き上げ中は7段になり変更はできません。
	お湯が白く見える	● 水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。 ビールの泡のようなもので、体には無害です。

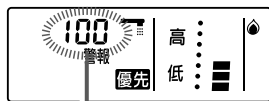
	こんなときは	確認してください
お風呂	お風呂の温度が設定通りにならない	● ふろ保温を中止したときは、お風呂の温度が低くなる場合があります。 ● 循環口フィルタにゴミがつまっていませんか。掃除してください。 34ページ ● 循環口フィルタが確実に取付けられていますか。
	循環口から泡が出る	● 機器内でお湯の中に空気が混入したり、水中に溶けていた空気が分離するためです。故障・異常ではありません。
	循環口から水が出る	● ふろ保温や追いだきの開始直後は、配管内に残っている水が出てくる場合があります。 ● 外気温が低いときは凍結予防のため循環ポンプが作動して、配管内に残っている水が出てくる場合があります。
	追いだきやふろ保温中に燃焼表示が表示したり、消えたりを繰り返すことがある	● 機器がふろ温度を調節しているためです。異常ではありません。
	追いだきやふろ保温ができない 追いだきやふろ保温が途中で停止する	● 浴そうの循環口上部から約5cm以上お湯(水)が入っていますか。 ● 循環口フィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 34ページ ● 循環ポンプの空気抜き(呼び水)は完了していますか。
	浴そうのお湯(水)が青く見える	● 光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。
	ふろ保温や追いだきを始めるとにごったお湯が出る	● 入浴剤を使用した後は、配管内の残り湯が混入し、にごったお湯が出る場合があります。特ににごり系の入浴剤を使用した後は目立ちます。 ● 1年に1回以上は「ふろ熱交換器の掃除」を行ってください。 37ページ
機器	排気口から湯気が出る	● 排ガス中の水蒸気が、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。異常ではありません。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音が出る	● 燃焼室内の排ガスを排出するため、送風機がしばらくの間動きます。
	排水ホースからお湯(水)が出る	● 燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。
	寒いときに機器から音が出る	● 外気温が下がるとふろ配管の凍結を予防するために、循環ポンプが運転・停止を繰り返します。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	● 「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 17ページ
リモコン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	● 停電していませんか。 ● 電源プラグが差し込まれていますか。 ● 安全装置(漏電ブレーカ)またはその他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 42ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	● 使用中は表示部が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	表示部が省エネモードにならない 表示部のバックライトが暗い、または消灯している	● 「表示部省エネモード」の設定を確認してください。 26ページ
	操作音がしない	● 「操作音」の設定を確認してください。 26ページ
	操作していないのに音が出る	● 他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからもブザーでお知らせすることがあります。
	表示部の色が変わる	● 表示部を正面以外から見ると表示色が変わって見えることがあります。また表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
	表示部の切換わりが遅い	● 気温が下がると表示の切換わりが遅くなる場合があります。
	時計を表示しない	● 現在時刻を設定してください。 27ページ

故障かな？と思ったら

エラーコード

異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

エラーコード表示位置

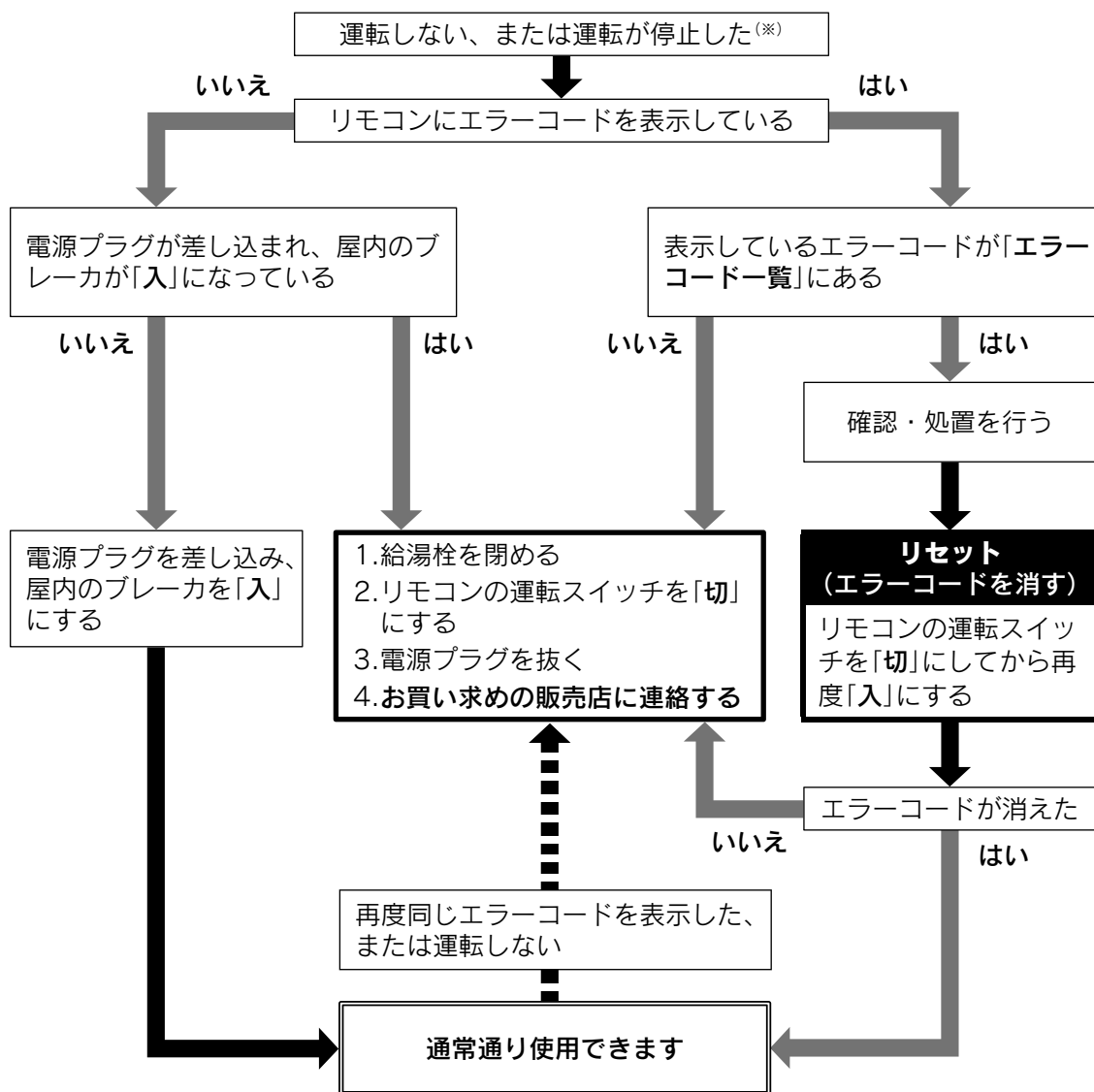


エラーコード

表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

●以下の処置を行ってください。



※運転を停止しないエラーコードもあります。

エラーコード一覧

エラーコード	説明	確認・処置
012	追いただき異常 (警告表示)	長時間連続で追いだきした場合に機器を停止します。 浴そうの排水栓がしっかり閉まっていますか。 おふろの水位が循環口よりも上にありますか。 循環口フィルタにゴミがつかっていないことを確認してください。 34ページ シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、追いだきやふろ保温ができません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
090	接続している太陽熱利用給湯システムの異常を検知した (警告表示)	太陽熱利用給湯システムの取扱説明書に従って処置してください。
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
110	着火できない	燃料切れをしていませんか。油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブは充分開いていますか。
120	燃焼中に火が消えた	(燃料切れをしていた場合は、リセットを2、3回行ってください。約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。 13ページ)
301	外気温を検知できない (警告表示)	機器の使用はできますが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
312	追いだきができない (警告表示)	シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、追いだきやふろ保温ができません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
642		シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、追いだき・ふろ保温・ふろ配管の凍結予防ができません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
480	油切れ予告装置の異常を検知した (警告表示) (別売のOC-5を取付時)	油切れ予告装置の故障や断線が考えられます。 機器の使用はできますが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。 (リセットは必要ありません。)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-5またはOC-31を取付時)	油タンクに給油してください。
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	お早めに法定点検を受けてください。 (法定点検の詳細は別紙の「特定保守製品についての説明書」を参照してください。) 「888」表示はリモコンの運転スイッチを10秒間に5回以上押すことで一時的に消すことができます。(点検を受けないと1年後に再表示します。)法定点検を受けた後は、3年後に再表示します。 連絡先：株式会社長府製作所 ☎ 電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9:00~18:00 ※年末年始を除く

■警告表示について

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

運転中に誤作動したときは

- 万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときは電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

故障かな？と思ったら

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常な燃焼をしたときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して運転を停止します。
過熱防止装置	機器内のお湯の温度が異常に上昇したときに作動して運転を停止します。
漏電ブレーカ	万一漏電したときに作動して運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。 凍結のおそれなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
	機器内の温度が下がると、浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ回路とふろ配管の凍結を予防します。(浴そう内に水がない場合は、ふろ配管の凍結予防はできません。) 凍結のおそれなくなると、浴そうの水の循環は停止します。
電流ヒューズ (10A)	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに、作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ (3A)	
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに灯油の残量を表示し(※)少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。

※灯油の残量を表示しないタイプもあります。 **17ページ**

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕 様

型名		KSB-4565SGL		
型式の呼び		KIB-456		
種類		圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形・1缶2水路式・強制循環式・水道直結式 屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形・屋内外用半密閉式強制通気形		
点火方式		高压放電式		
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)		
燃料消費量		51.4kW(5.00L/h)		
出力	ふろ側	14.0kW(12,000kcal/h)		
湯沸効率		77%		
連続給湯効率	給湯側	87.5%		
連続給湯出力		45.3kW(39,000kcal/h)		
熱交換器容量	給湯側	14.5L		
	ふろ側	1.2L		
使用圧力(最高使用圧力)		0.1MPa(1.0kgf/cm ²)		
伝熱面積		0.95m ²		
外形寸法		高さ833mm	幅300mm	奥行591mm
質量(満水時)		35kg(52kg)		
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz		
定格消費電力	給湯使用	点火時：115/110W	燃焼時： 87/ 83W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：177/175W	燃焼時：150/145W	
待機時消費電力		2.3W		
排気温度		260℃以下		
排気筒の呼び径		106		
騒音レベル		45dB(A)		
循環管取付口径		R1/2(15A)		
基準浴そう		有効水量200～300L(最大400Lまで)		
電流ヒューズ		10A		
送風機ヒューズ		3A		
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置・漏電ブレーカ		
その他の装置		凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置(別売部品)		
付属品		台所リモコン式・浴室リモコン式・排水用ホッパー・給水口保温材・送油管・プラグ(1/2) 循環接続口フタ・転倒防止金具・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋		
区分名(省エネ法)		B		
エネルギー消費効率		87.5%		

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

試運転はお買い求めの販売店または据付業者と一緒に必ず行ってください。

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
1. 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
2. 油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
3. 送油管が逆U字型になっていませんか。	
4. 給水元栓を開け、給湯栓を開けると水が出ますか。	
5. 機器や配管から水漏れはありませんか。	
6. リモコンは確実に接続されていますか。	
7. 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	
8. 循環ポンプの空気抜き(呼び水)ができていますか。	

運転

試運転は必ず「1 給湯」→「2 追いだき」→「3 ふろ保温」の順番で行ってください。順番を間違えるとエラーが出て試運転ができなくなることがあります。

- 試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
- リモコンの表示部にエラーコードが表示されてバーナーが停止したときは、エラーコードを参照して確認・処置を行ってください。**40・41ページ**
- 試運転終了後は、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

1 給湯

1. 運転開始

リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。
「優先」が表示したリモコンの給湯温度調節スイッチで希望の温度に調節してください。
給湯栓を開けてください。

2. 初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ピーピー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり燃焼を開始します。

3. 正常運転のめやす

給湯温度の調節ができること、排気筒・拡散排気筒・排気部からススや煙が出ていないこと、異常な音がしていないことを確認してください。

燃焼しないときは「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。**17ページ**

4. 停止

給湯栓を閉めてください。

2 追いだき

1. 運転開始

浴そうの循環口上部から約5cm以上お湯(水)があることを確認してください。
浴室リモコンの追いだきスイッチを押してください。

2. 正常運転のめやす

追いだきランプが点灯し、循環ポンプが作動していることを確認してください。
このとき燃焼表示が表示することを確認してください。(表示したり、消えたりを繰り返すことがあります)
追いだきができないときは循環ポンプの空気抜き(呼び水 **18ページ**)を行ってください。

3. 停止

リモコンの追いだきスイッチを押して追いだきを中止してください。

試運転

3 ふろ保温

1. 運転開始

浴そうの循環口上部から約5cm以上お湯(水)があることを確認してください。

リモコンのふろ保温スイッチを押してください。

ふろ保温ランプが点滅します。

2. 正常運転のめやす

リモコンに表示しているふろ温度まで沸き上げると、ふろ保温ランプが点灯に変わります。

保温ランプが点灯が変わってから約20分後、循環ポンプが作動することを確認してください。

3. 停止

リモコンのふろ保温スイッチを押してふろ保温を中止してください。

●このページは空白です。

ご使用の前に

基本の使いかた

便利な使いかた

必要なときに

●このページは空白です。

長府強制追焚付石油給湯器保証書(販売店様控)

型 名	KSB-4565SGL		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府強制追焚付石油給湯器保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より向こう一年間、本書記載内容に従って、無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	KSB-4565SGL		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 温泉水を給水したことに起因する不具合
- (13) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合
- (14) 公害による不具合
- (15) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (16) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「故障かな?と思ったら」**38～42ページ**を確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の

お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	強制追焚付石油給湯器
型名	KSB-4565SGL
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯・ふろ以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339

携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を
目的として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理
由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:00～19:00
土日祝 8:00～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブと給水元
栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検
・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1